

近畿農政局長賞

南山城村田舎暮らし推進協議会（京都府相楽郡南山城村）



そば作り体験



黒大豆収穫

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

南山城村は、山城地域東部の山間部に位置しており、平成10年代に入り、住民の高齢化や人口の減少が顕著となり、遊休農地の増加や集落の将来像が描きにくい状況になってきた。

一方、近隣の都市住民の中には「田舎暮らし」を求めて、農山村に移り住むことを希望する人も現れてきた。

そのような時期、農山村に移住したい都市住民を地域に呼び込むプロジェクト「農あるライフスタイル実現プロジェクト」の提案が京都府から村を通じてあり、地元関係者で協議し、まずは、野殿・童仙房区及び押原区の2集落において田舎暮らし希望者との交流を中心とした取組からスタートさせた。

（２）むらづくりの内容

- ・田舎暮らし希望者との地域住民の出会いや交流、情報交換を通じ、地域の活性化を図っている。
- ・田舎暮らし希望者を対象に、農業体験と意見交換会をセットにした取組「京のやましろ田舎暮らし必見・発見・体験プログラム」を、年間を通して実施している。
- ・体験プログラムには、田舎暮らし希望者が地域をよく理解した上で移住してもらうために、区長や農業委員をはじめ、地元住民が積極的に参加している。
- ・体験プログラムの作業には地元農家が関わっており、黒大豆づくりでは栽培のノウハウを吸収し、自らが栽培する農家も出てきており、この流れが黒大豆を村の特産品として普及させていく下地づくりとなっている。
- ・協議会の活動により、平成24年度までに9人の移住者、5人の通勤農業者が生まれた。